

投資事業評価調書 (新規)・継続)

部 局 課 室 名	教育委員会事務局 高校教育課	記 入 者 職 氏 名	高校教育課長 西田 利也 (副課長 新谷 浩一)
--------------	----------------	----------------	-----------------------------

1 事業の概要

事業名	デジタル社会に対応した産業教育設備整備事業(県立香住高校小型実習船建造工事)	総事業費 (概算)	230,375千円
		R2年度補正 予算計上額	230,375千円

所在地	美方郡香美町香住区矢田40-1
事業目的	平成5年に建造された小型実習船「しりうす」について、未来を支える香住高校の高校生が、デジタル社会における最先端の知識・技術を身に付けることで、地域産業を支える職業人として活躍するため、新高等学校学習指導要領の導入にあたり必要な産業設備の更新を行い、香住高校の設備の魅力化・高度化を図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県立香住高校小型実習船整備 (1) 整備規模 19トン船舶 (2) 整備方針 デジタル社会に対応した最先端設備の整備
事業スケジュール	<p>令和3年3月～ 基本仕様検討、基本構想策定、概略・基本設計</p> <p>6月～ 小型実習船建造工事着工</p> <p>令和4年3月 建造工事完成(予定)</p>

2 基準に基づく評価

項目	説 明
必要性	<p>香住高校では、沿岸漁業実習、船舶の運航実習、環境調査実習、水産物の魚体処理実習等のため、小型実習船を活用している。現在、保有している第2代小型実習船「しりうす」(19トン)は、平成5年3月の竣工後、船齢が27年を経過し、船舶部品の経年劣化が進行し、金属疲労や部品劣化に伴う故障が数多く発生している。定期検査時に必要な修繕を重ねながら運航しているが、維持管理費は年々増加する一方である。経年劣化によるトラブル発生の可能性が高まることが予想されるため、運航の継続は好ましくない。</p> <p>運航者及び同乗生徒の安全を確保するとともに、未来の水産業を支える人材を育成する安全で効果的な実習を行うため、早急に更新する必要がある。</p>
有効性・ 効率性	<p>小型実習船の整備により、海洋科学科にある「海洋技術」「海洋環境」「食品科学」の3つの類型において、デジタル社会に対応した最新の設備を活用することで新たな発展的な学びを実践することができる。</p> <p>また、小型実習船を保有する学校として、普通科に対しても、船舶を活用した探究活動など、従来の枠を超えた学びが期待できる。</p>

環境適合性	<p>建築部材等において可能な限り省エネ化を図ることで環境に配慮するとともに、小型実習船の維持管理に要するエネルギー使用量の抑制・効率化を図る。</p> <p>(1) 照明に LED 灯や人感センサーを導入</p> <p>(2) 効率的な空調設備の導入等</p>
優先性	<p>小型実習船の整備により、小学生の乗船体験や防災教育における災害時を想定した船舶利用など、幅広く活用した学びの場を地域に提供することができる。</p>

3 審査会意見

審査会意見	<p>事業の必要性、有効性が認められ、整備することは妥当である。</p>
-------	--------------------------------------